



株式会社シー・エス・ランバー

東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
証券コード 7808

2017年11月期 決算説明会

2018年2月7日

1. 当社の概要
2. 2017年11月期決算の概要
3. 成長戦略及び
2018年11月期業績予想
4. 株主還元

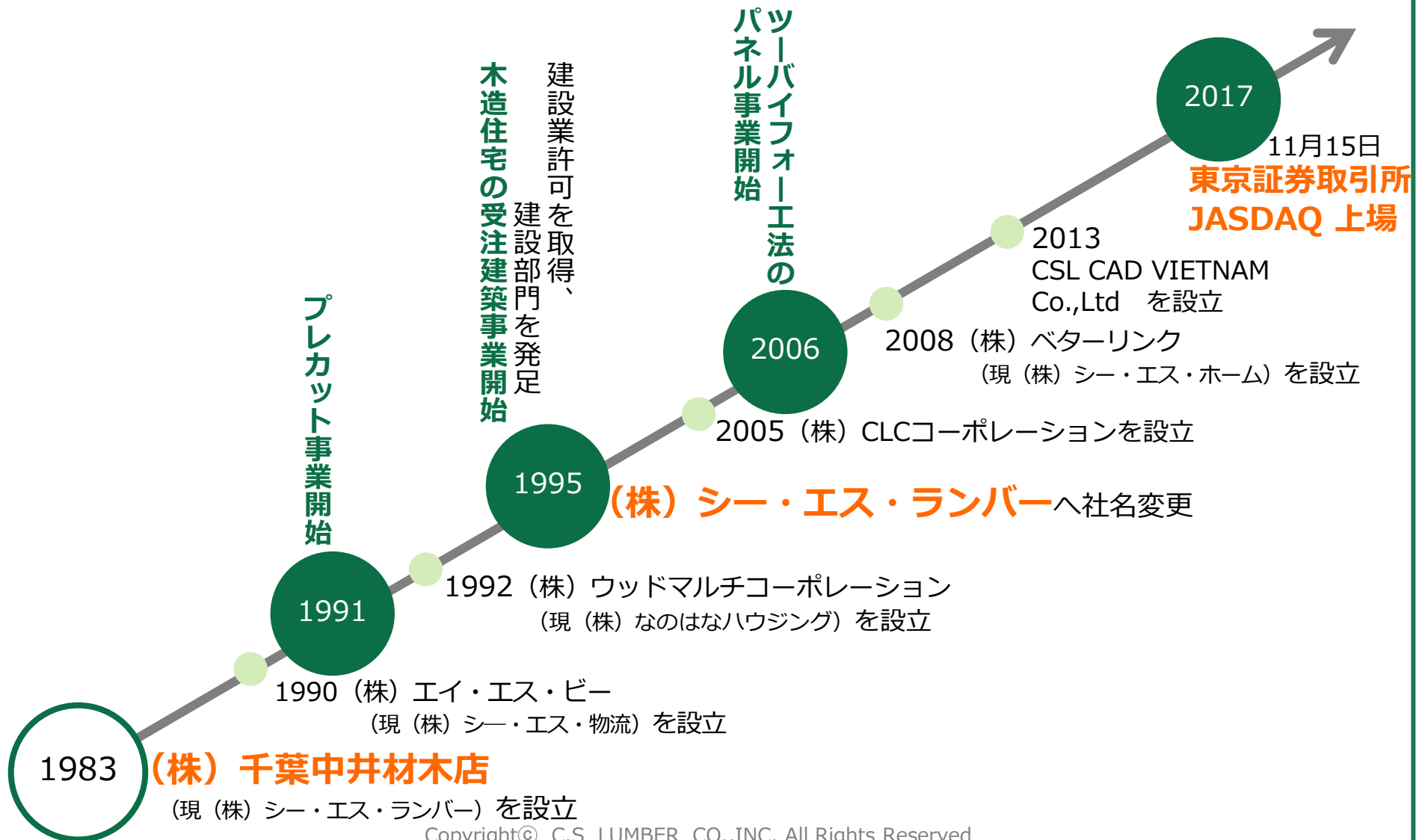
Customer Satisfaction through Lumber

木材を通じて顧客に満足戴ける取引に徹する

会社名	株式会社シー・エス・ランバー
本社所在地	千葉県千葉市花見川区幕張本郷一丁目16番3号
代表者	代表取締役社長 中井 千代助
設立	1983年4月1日
資本金	515百万円
事業内容	<p>1:プレカット事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●在来軸組工法における設計、木材のプレカット加工及び販売 ●ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売 <p>2: 建築請負事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●木造住宅・大型木造施設の建築請負 <p>3: 不動産賃貸事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●不動産賃貸・管理 <p>4: その他事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●不動産の販売
従業員数	連結 328名 他、臨時従業員 84名

(2017年11月末現在)

木材を熟知する材木店から、木造建築のトータルサービス企業へ



事業概要 (1) プレカット事業



在来軸組工法における設計 (CAD)、木材のプレカット加工及び販売
ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売

「木造建築の主要2工法に対応」した加工・販売

在来軸組工法 (山武工場)

日本で最も主流の工法
基礎の上に木の土台を据えて、柱と柱を梁で水平につぎ、
対角線を筋交いで補触する

ISO9001 : 2015認定
登録証番号 : JQA-QM8720
登録活動範囲 :
木造住宅用プレカット材の
設計、製造



(財) 日本住宅・木材技術センター認定
木質建材製造工場
品質管理優良工場



認証番号 A-232



ツーバイフォー工法 (東金工場)

枠状に組み立てられたツーバイ材に構造用合板を打ち付けた壁や
床 (面材) で支える「枠組み」構造
隙間が大変少なく、気密性・防音性に優れている

JAS認定工場 (全国木材検査・研究協会)

認定番号 : JLIRA-A-016

認定品目 :

枠組壁工法構造用製材

認定区分 :

人工乾燥枠組壁工法構造用製材



木造戸建住宅・木造一般建築物の建築（大型木造施設等）の建築請負

当社のプレカット製品を仕入れて、
木造住宅・保育所等の大型木造施設を合わせ
年間200棟以上を施工



茂原市介護施設

- ・構造： 木造2階建
- ・延床： 996.26㎡
- ・居室数： 23室

なのはなモデルハウスA棟



注文住宅の新ブランド Health-ie（ヘルシエ）

人と地球の健康のための家づくり。すこやか家族の「Health-ie」



ヘルス
Health + 家 の造語

【特徴】

<有害物質の出ない天然素材を使用>

- ◇床・・・無垢の杉材使用（血圧、ストレスホルモンを安定）
- ◇壁・・・珪藻土内装材使用

（調湿性が高く、夏・冬共に快適、空気中のホルムアルデヒドを除去）

<快適な空間づくり>

- ◇ストレスを感じない間取りの工夫

事業概要 (3) 不動産賃貸事業



長期安定契約を基本方針とした不動産賃貸及び管理

主として木造建築の賃貸及び管理



保育所 (船橋市)

- ・ 構造：木造2階建
- ・ 土地：496.61㎡
- ・ 延床：440.09㎡
- ・ 定員数：60名
- ・ 契約期間：2016.12.1
～2037.3.31

保育所施設	賃貸中 3棟 (建築中 4棟)
介護施設	賃貸中 3棟
その他	賃貸中 1棟

(2017年11月末現在)



保育所 (文京区)

- ・ 構造：重量鉄骨造り3階建
- ・ 土地：200.49㎡
- ・ 延床：333.56㎡
- ・ 定員数：50名
- ・ 契約期間：2016.12.1
～2032.3.31



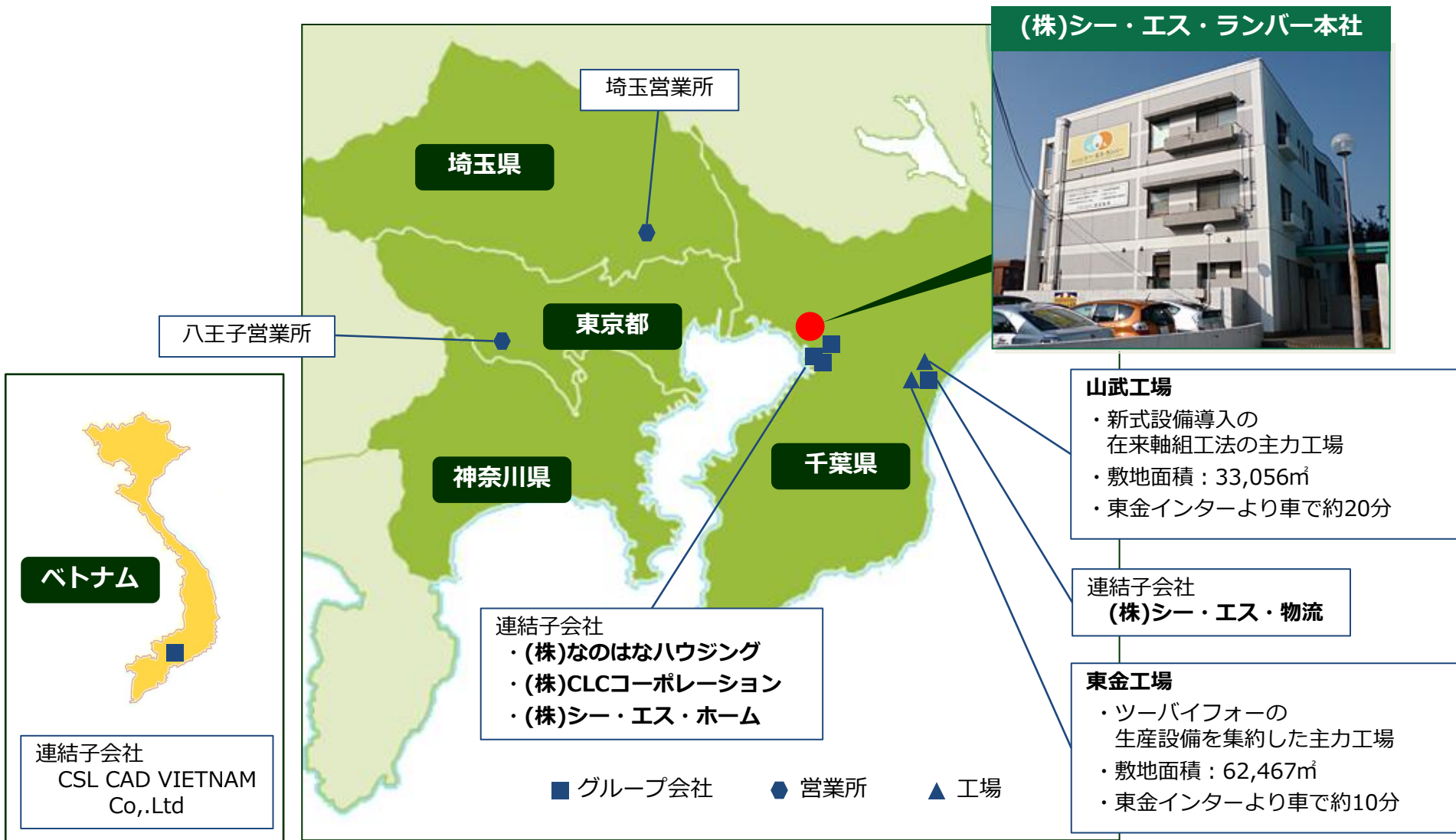
介護施設 (千葉市)

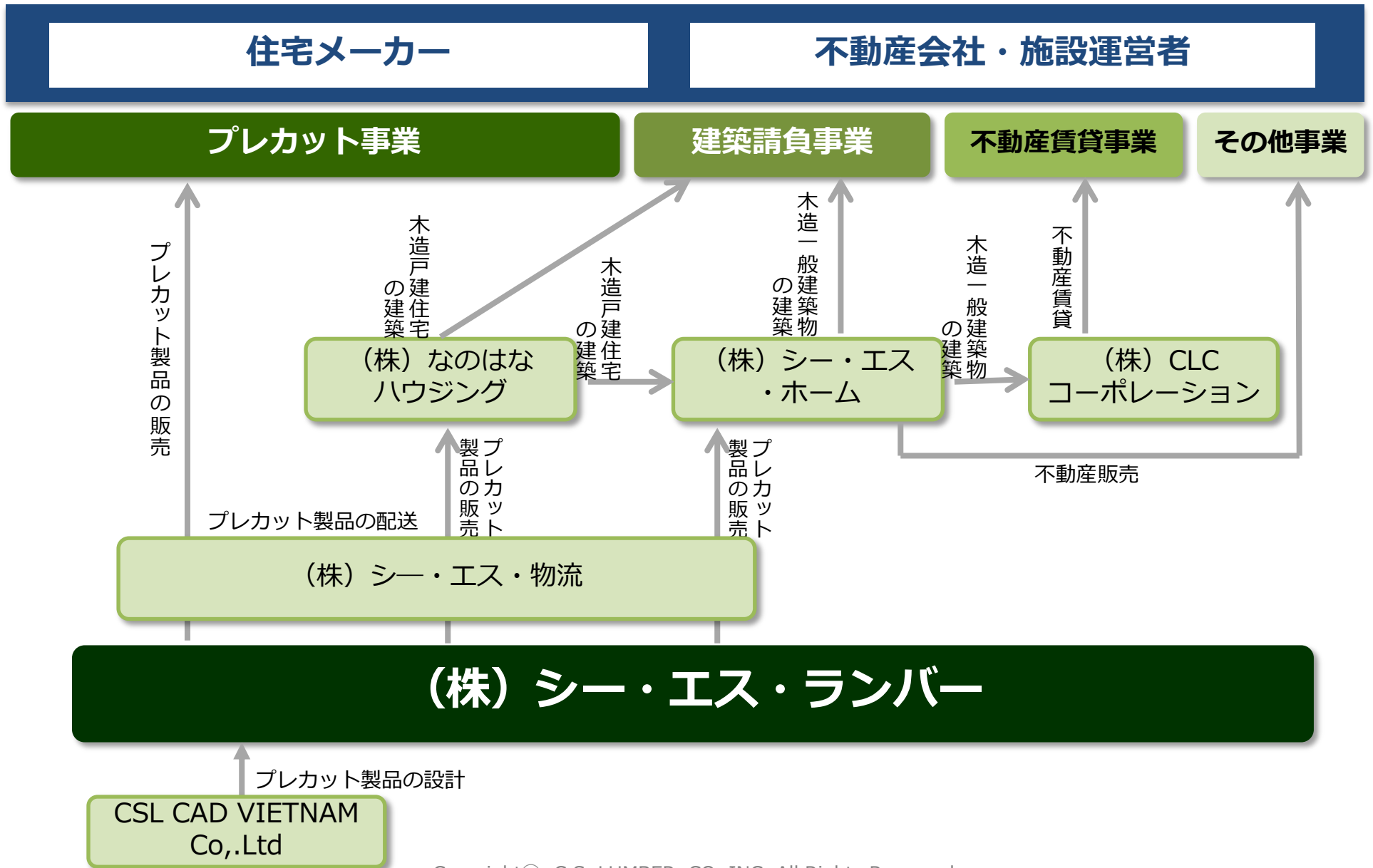
- ・ 構造：木造2階建
- ・ 土地：3513.64㎡
- ・ 延床：2942.40㎡
- ・ 室数：26室
- ・ 契約期間：2007.2.1
～2025.3.31

当社グループ所在地および事業エリア



首都圏を中心に事業展開





付加価値を創造する木造建築のトータルサービス

- 材木店経営で培った木材（業界）に関する豊富な知識を活かし、木材の仕入れから加工、建築、賃貸・販売までグループ内で行うことで、付加価値を創造

プレカット事業 歩留まり（端材の削減）の追求力



木材の仕入れ



加工



配送

建築請負事業



建築

不動産賃貸事業



賃貸・管理

その他事業（不動産の販売）



住宅用地の販売



住宅販売

- 木材の豊富な知識を活かした仕入力、提案力
- 木造建築の主要2工法へ対応した安定力
- コスト競争力(歩留まり追求力)、供給力、高品質
- 首都圏特化による現場対応力、効率性
- 強い顧客基盤

自動化された生産ラインによる競争力（高品質、低コスト、高い生産性）のある製品づくり

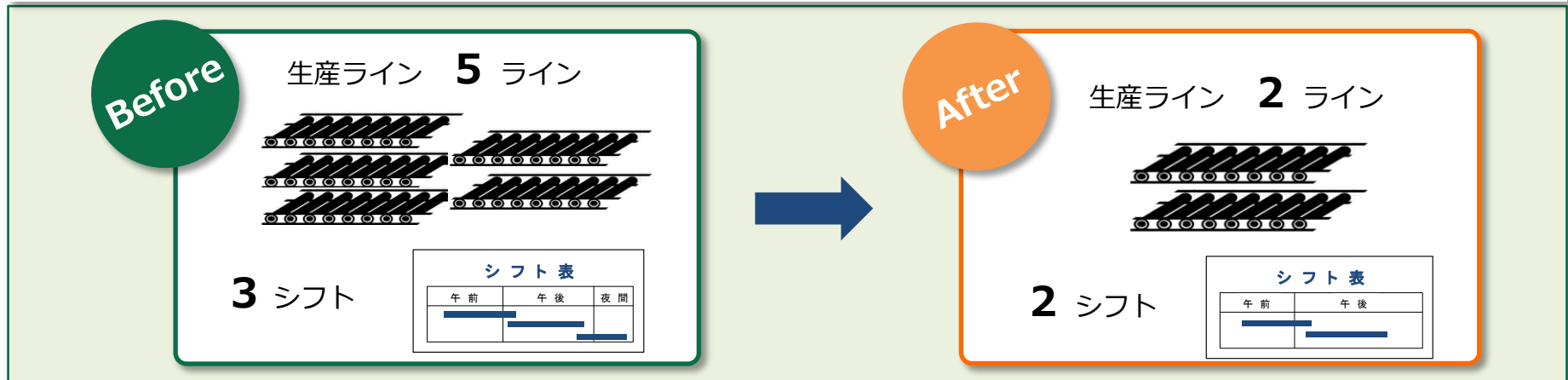
ピッキングシステムと新式プレカット加工ラインの導入により、**高い歩留まり・生産性を実現**

ピッキングシステム（邸別ピッキング用自動倉庫）

更なる「歩留まり追求」を目的にカスタマイズ導入 ⇒ **歩留まりが約10%向上**

- ・コンピュータ制御による在庫管理技術の向上に伴い、必要な木材のより適切な仕入れが可能となり、**材料費を削減**
- ・材料の木材の入庫、出庫の自動化により、**生産性も向上**

新式プレカット加工ライン



- ・加工能力向上に加え、従来難しかった複雑な加工も可能になり、機械化率が上昇し、**生産性も向上**
- ・製品の**品質安定化**にも貢献

当社の強み (2) プレカット事業 (在来軸組工法 山武工場) ②



ピッキングシステム (邸別ピッキング用自動倉庫) の概要

自動倉庫 275棚
設置スペース
(長さ 93.0m×幅4.5m×高さ 11.0m)

コンピュータ制御により、木材の入庫、出庫を自動に行う

「入庫」：樹種、寸法(長さ、幅、厚さ)、本数別に、自動倉庫に搬入、保管

⇒自動で在庫情報を更新

「出庫」：仕向先(邸)別に必要な樹種、寸法、本数を揃えて自動で出庫(一度に最大8仕向先の処理が可能)

⇒自動で在庫情報を更新
(少ない在庫を把握)



【自動倉庫】



【仕向先(邸)別出庫台】

中央の仕分機より仕向先(邸)別に木材が荷揃え出庫

⇒出庫木材は新式プレカット加工ラインへ投入



【出庫仕分け(ピッキング)機】

自動倉庫から送られてきた木材を吸着式ピッキングマシンにより、左右4台(計8台)の仕向先(邸)別出庫台へ送る

【導入前】



所定の棚へ樹種、寸法別に保管

- ・大きく、重い木材の大量管理は、手間がかかり、タイムリーな在庫把握が難しかった
- ・出庫作業(必要な樹種、寸法、本数の抽出)は手作業に頼るところが大きかった

全部位 (壁・床・屋根) のパネルを加工し、現場に配送

- ・ 建築現場における工数が大幅に削減される他、高度技術者も不要となり、**付加価値の高い製品**を提供



壁パネル



床パネル



屋根パネル

大量かつ安定供給が可能な東金工場

- ・ 広大な敷地 (62,467㎡) の東金工場に設備を集約し、パネルの**大量生産・保管、安定供給体制**を確保
- ・ 東金インターから約10分の好立地で、**効率化された自社配送**

機械化が進んだ生産ライン

- ・ 在来軸組工法で培ったノウハウを活かし、**機械化を推進**
複雑な形状の加工においても**機械化を進め、高品質、高い生産性を確保**



マルチカットライン
(木材のカット)



マルチカット製品



パネルシージングライン
(自動釘打ちマシン)

ベトナム子会社でのCAD設計

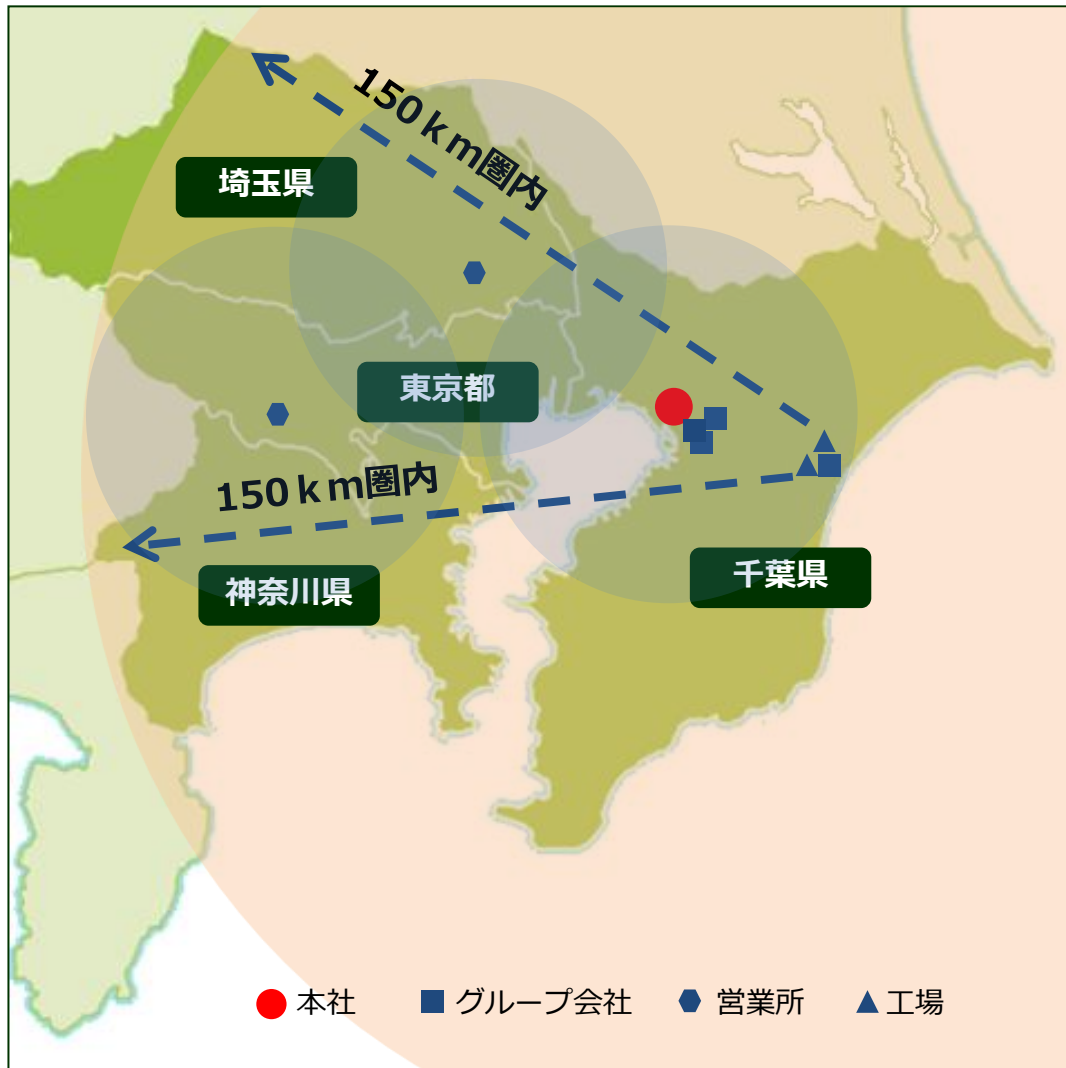
標準的な建物の設計を行い、**コスト低減**

- クロス (直切り) カットライン 2ライン
- マルチカットライン 1ライン
- パネルシージングライン 2ライン

当社の強み（4）プレカット事業（首都圏に特化）

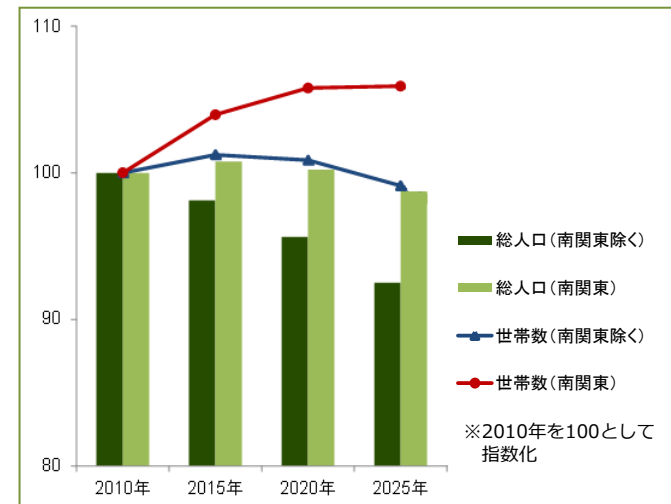


人口が集中する首都圏に絞った生産・営業拠点



展開エリアを絞ることにより

- ・お客様ニーズへの迅速な対応
(企画・設計・アフターサービス)
 - ・営業効率
 - ・配送効率
- 生産性向上による
コスト競争力

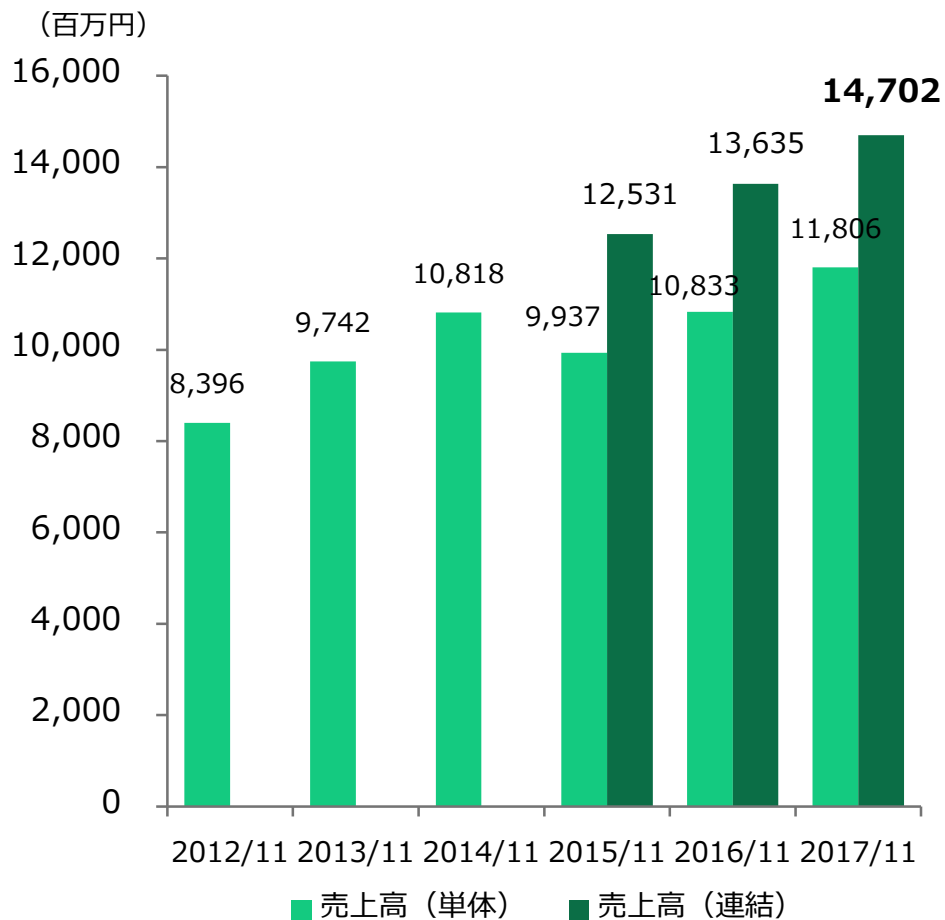


出所：国立社会保障・人口問題研究所「全国人口将来推計」より当社作成

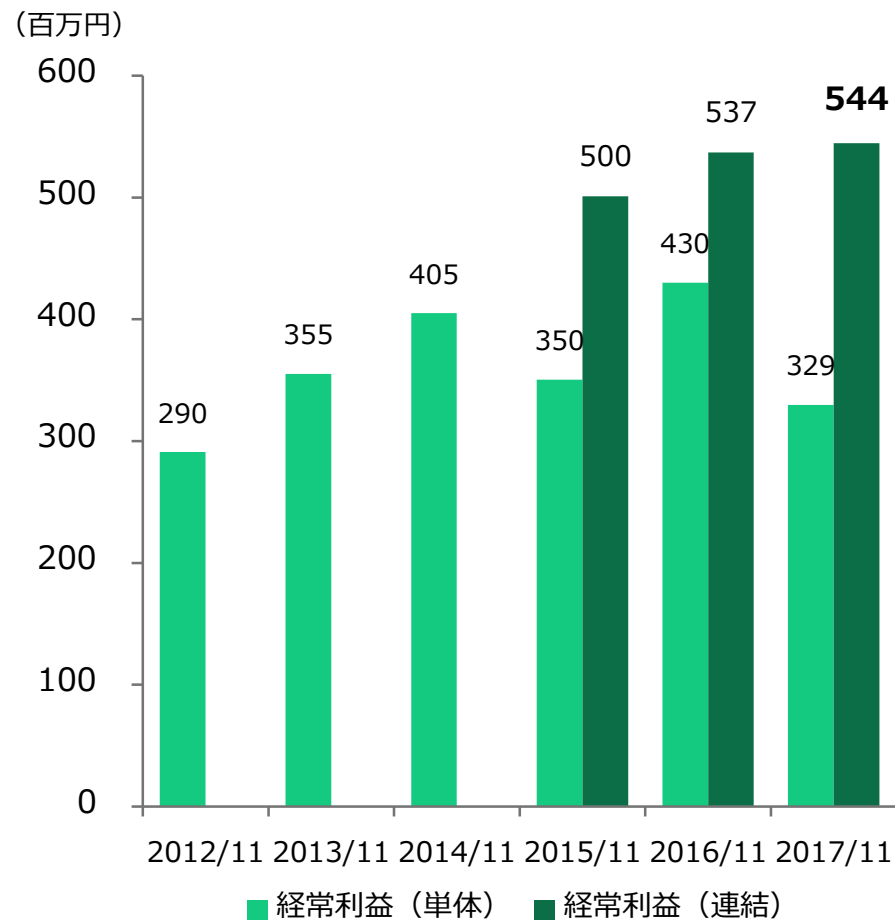
1. 当社の概要
2. 2017年11月期決算の概要
3. 成長戦略及び
2018年11月期業績予想
4. 株主還元

徹底した歩留り追求による着実な成長

売上高



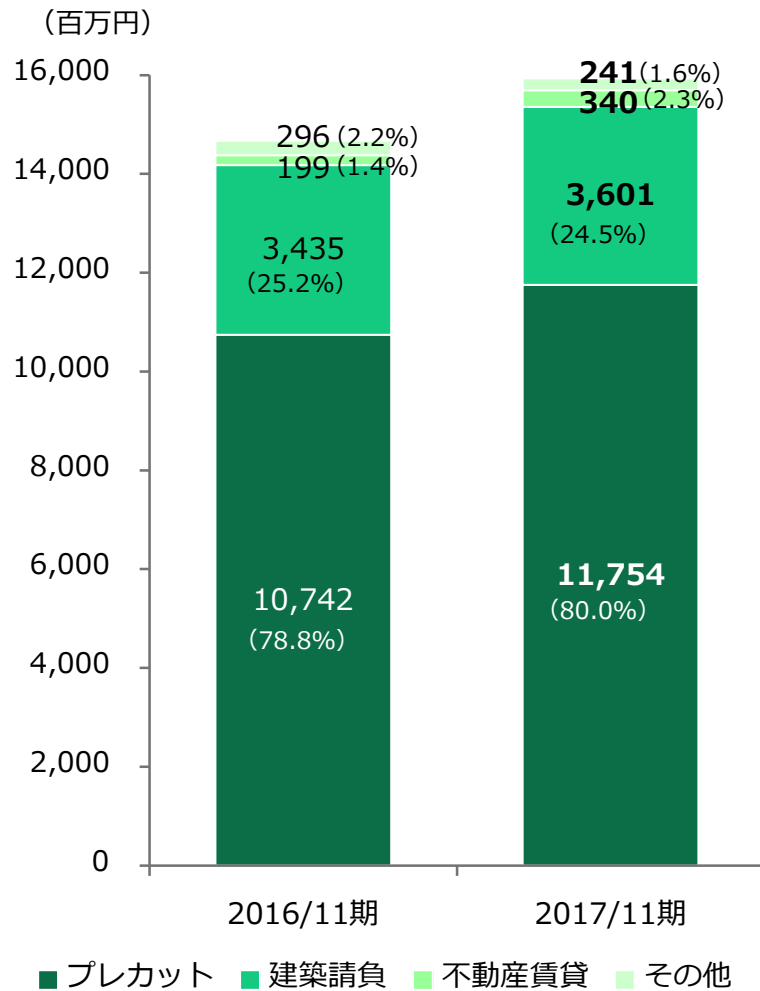
経常利益



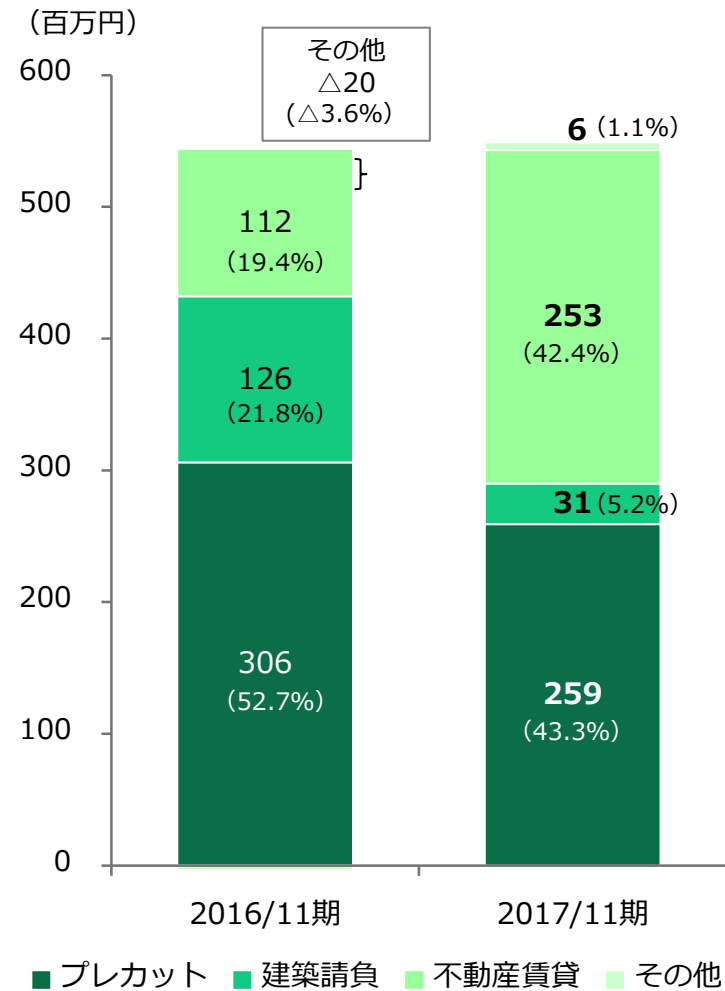
2017年11月期 セグメント別決算概要



売上高



セグメント利益

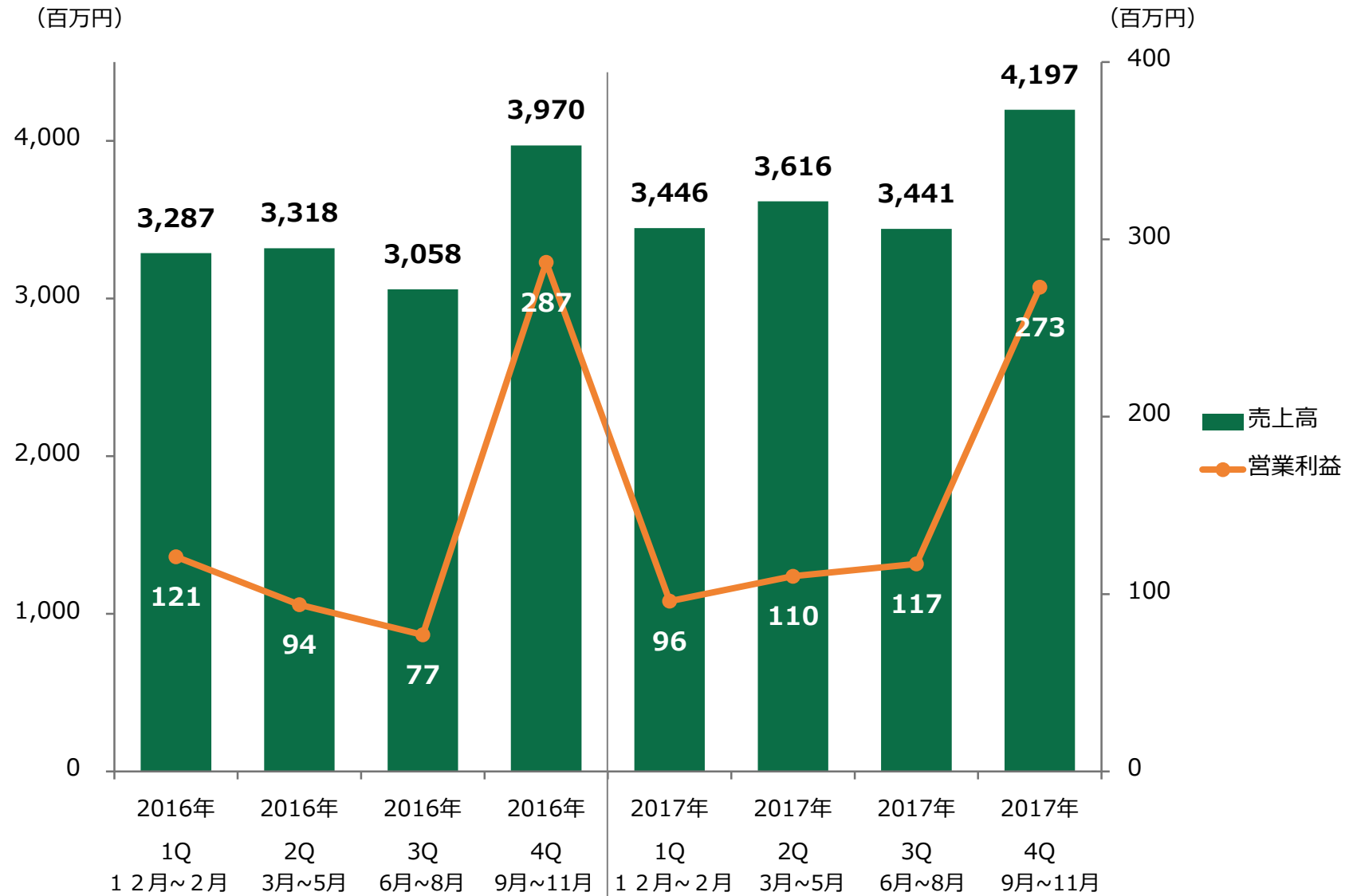


2017年11月期 決算概要

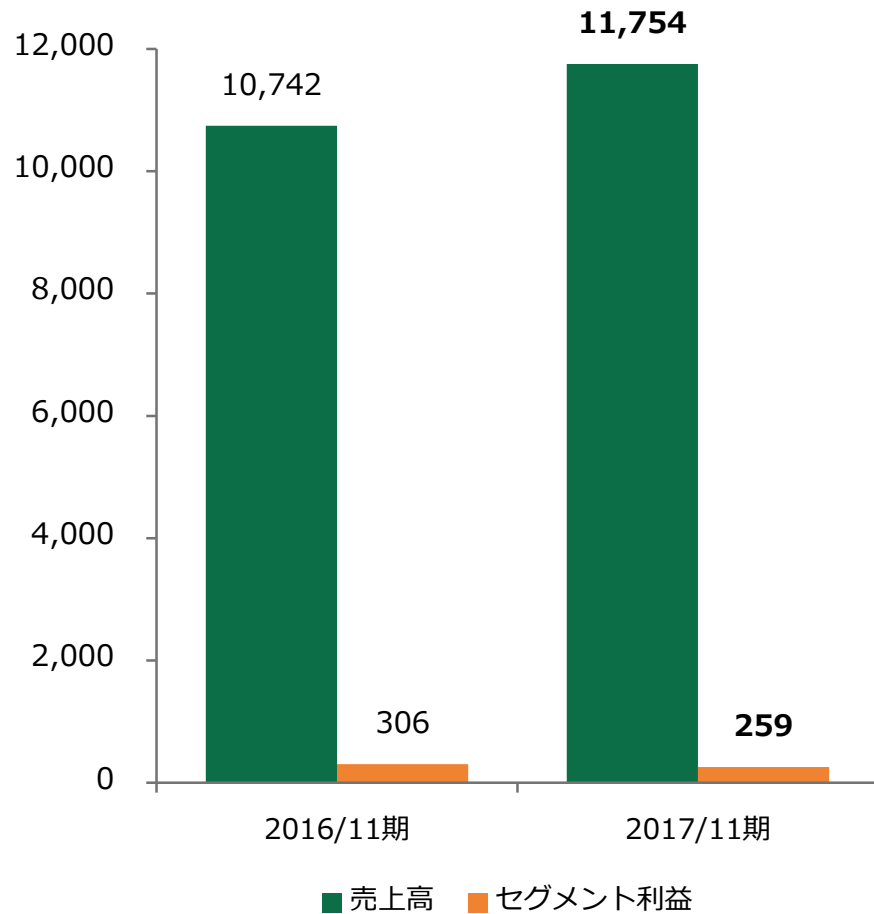


	2016年11月期		2017年11月期					
	実績		実績		前期比		11/15 予想	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率	金額 (百万円)	増減率
売上高	13,635	100.0%	14,702	100.0%	1,067	7.8%	14,733	△0.2%
プレカット	10,742	78.8%	11,754	80.0%	1,012	9.4%	—	—
建築請負	3,435	25.2%	3,601	24.5%	166	4.8%	—	—
不動産賃貸	199	1.4%	340	2.3%	140	70.7%	—	—
その他	296	2.2%	241	1.6%	△ 55	△18.7%	—	—
調整額	△ 1,039	△7.6%	△ 1,236	△8.4%	△ 197	19.0%	—	—
販売費及び一般管理費	1,855	13.6%	1,986	13.5%	131	7.1%	—	—
営業利益	581	4.3%	598	4.1%	17	3.0%	643	△7.0%
プレカット	306	52.7%	259	43.3%	△ 46	△15.3%	—	—
建築請負	126	21.8%	31	5.2%	△ 95	△75.4%	—	—
不動産賃貸	112	19.4%	253	42.4%	141	124.9%	—	—
その他	△ 20	△3.6%	6	1.1%	27	△130.7%	—	—
調整額	56	9.7%	47	8.0%	△ 8	△15.1%	—	—
営業外収益	60	0.4%	70	0.5%	10	16.8%	—	—
営業外費用	104	0.8%	124	0.8%	19	19.0%	—	—
経常利益	537	3.9%	544	3.7%	7	1.4%	601	△9.5%
特別利益	81	0.6%	58	0.4%	△ 22	△28.1%	—	—
特別損失	146	1.1%	111	0.8%	△ 34	△23.7%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	316	2.3%	339	2.3%	22	7.2%	320	5.9%

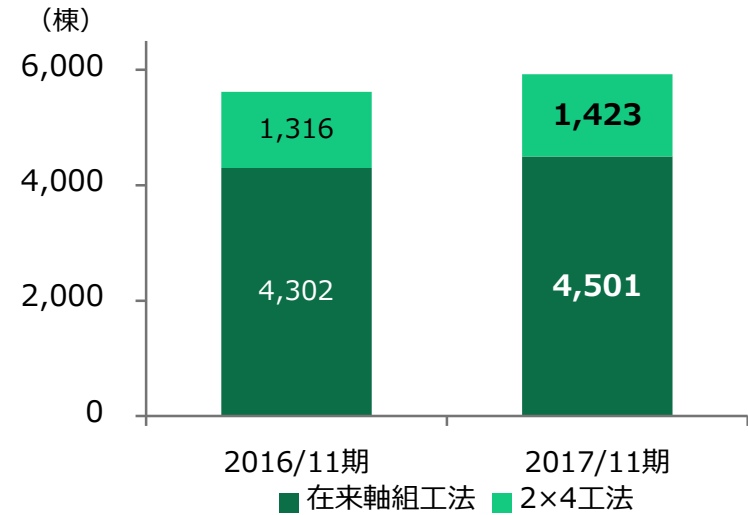
四半期業績推移



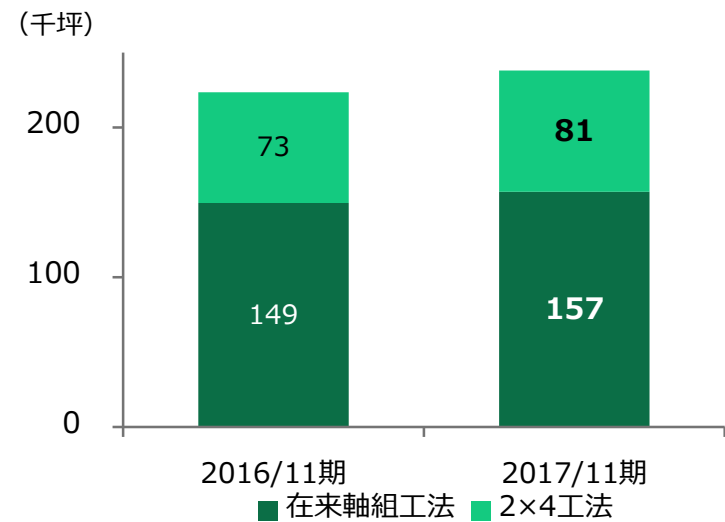
売上高・セグメント利益



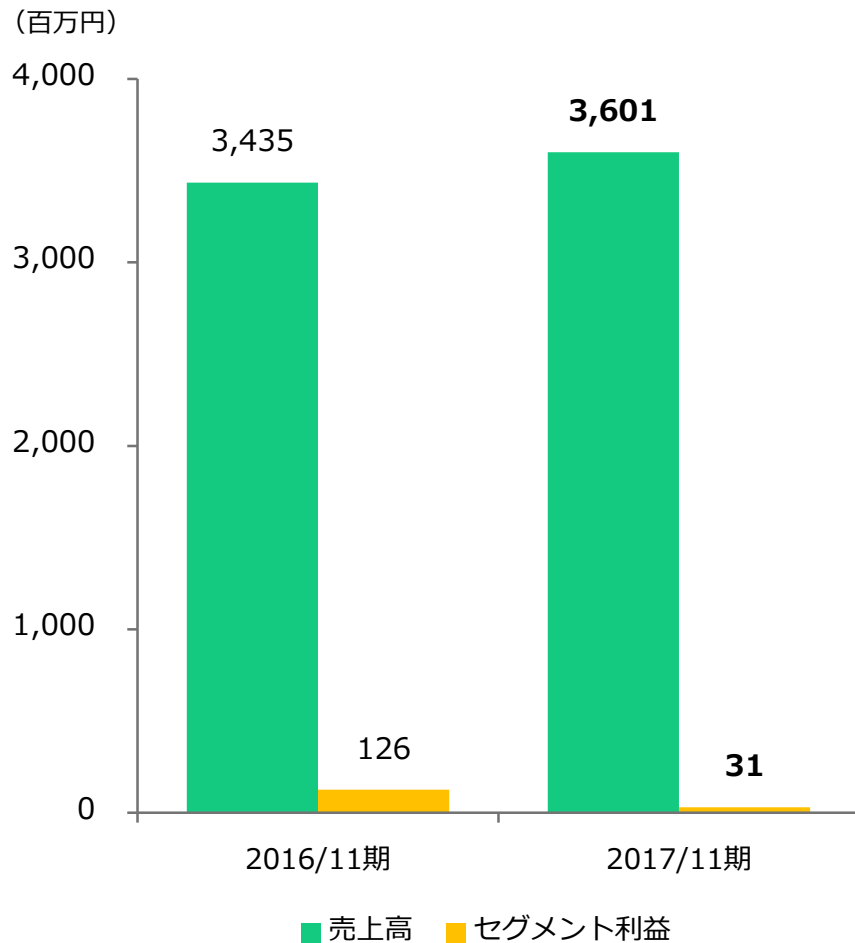
出荷棟数



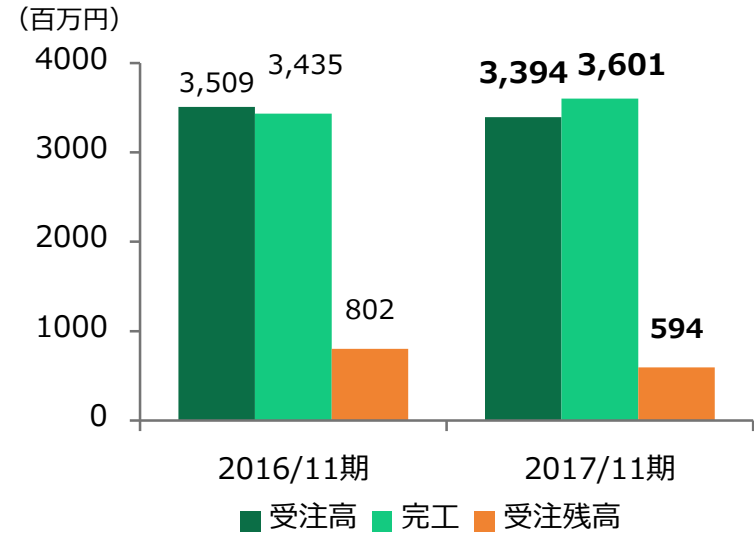
出荷坪数



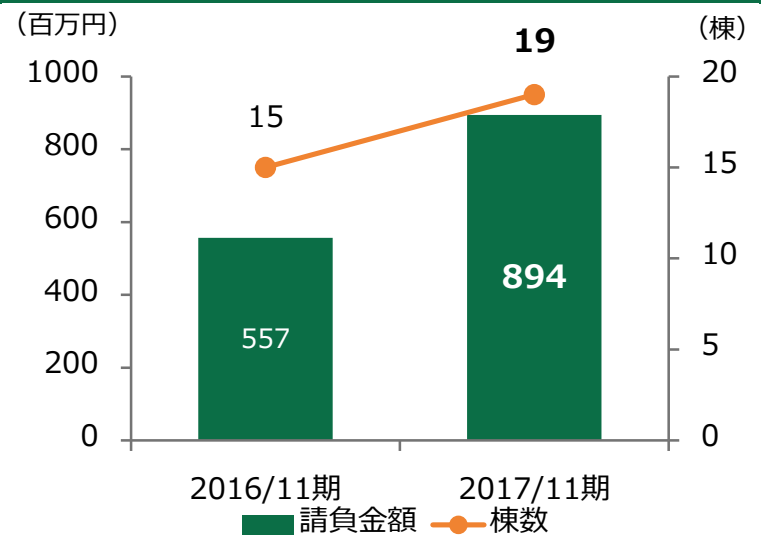
売上高・セグメント利益



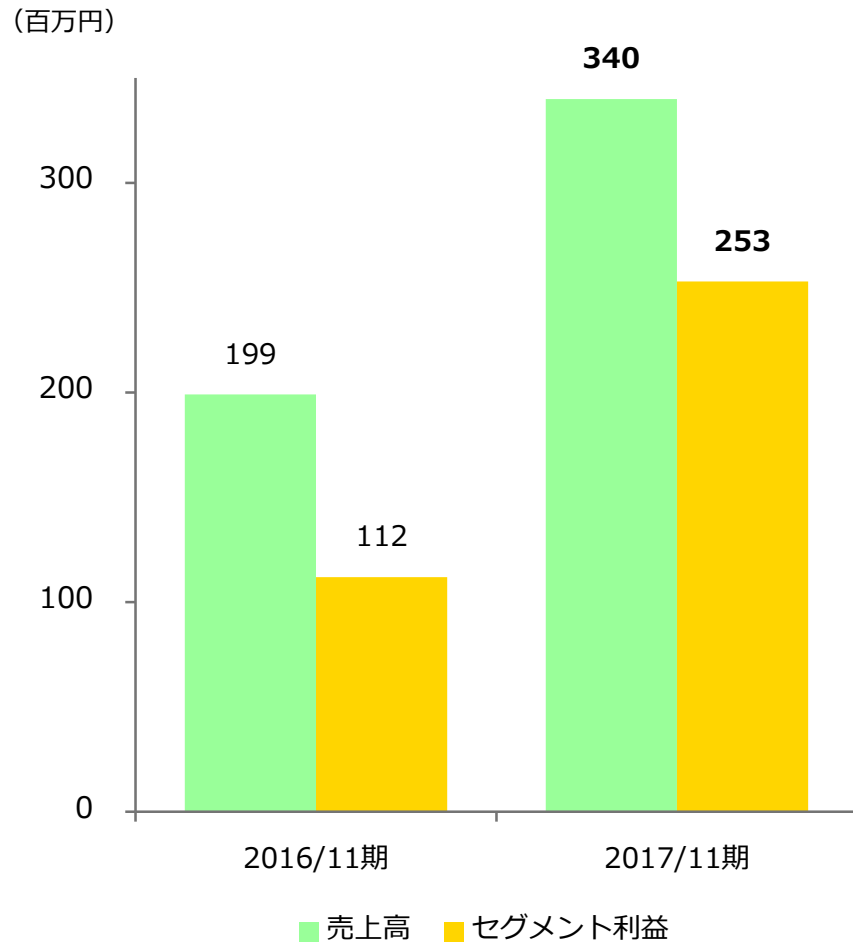
受注・完工・受注残



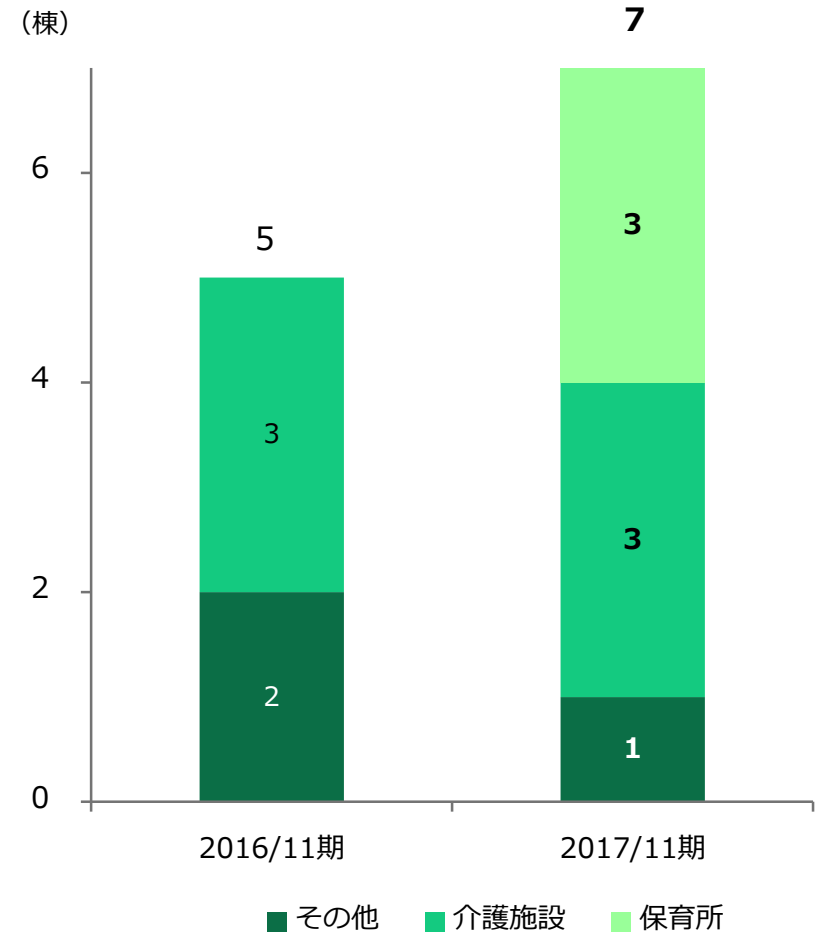
大型(50坪以上)木造住宅・施設



売上高・セグメント利益



賃貸及び管理棟数



2017年11月期決算概要 バランスシート



	2016年11月期末		2017年11月期末	
	実績	実績	前期末比	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率
流動資産	4,773	5,461	687	14.4%
現金及び預金	1,364	1,733	368	27.0%
受取手形及び売掛金	2,301	2,555	253	11.0%
販売用不動産	145	327	181	124.5%
仕掛品	411	279	△ 132	△32.1%
原材料及び貯蔵品	324	328	3	1.2%
その他	224	236	11	5.2%
固定資産	4,966	5,616	649	13.1%
有形固定資産	4,528	5,199	670	14.8%
無形固定資産	91	116	25	27.7%
投資その他の資産	346	300	△ 46	△13.4%
資産合計	9,740	11,077	1,337	13.7%
流動負債	5,487	5,394	△ 92	△1.7%
支払手形及び買掛金	1,912	1,806	△ 106	△5.5%
短期借入金	1,537	1,342	△ 195	△12.7%
1年内返済予定の長期借入金	370	334	△ 35	△9.7%
リース債務	137	178	41	30.0%
未払金	530	553	23	4.4%
その他	997	1,177	180	18.1%
固定負債	2,620	3,363	742	28.3%
長期借入金	1,424	2,130	705	49.5%
リース債務	654	739	85	13.0%
その他	541	492	△ 48	△8.9%
負債合計	8,107	8,757	649	8.0%
株主資本合計	1,522	2,233	710	46.7%
純資産合計	1,632	2,320	687	42.1%
負債純資産合計	9,740	11,077	1,337	13.7%

2017年11月期決算概要 キャッシュフロー

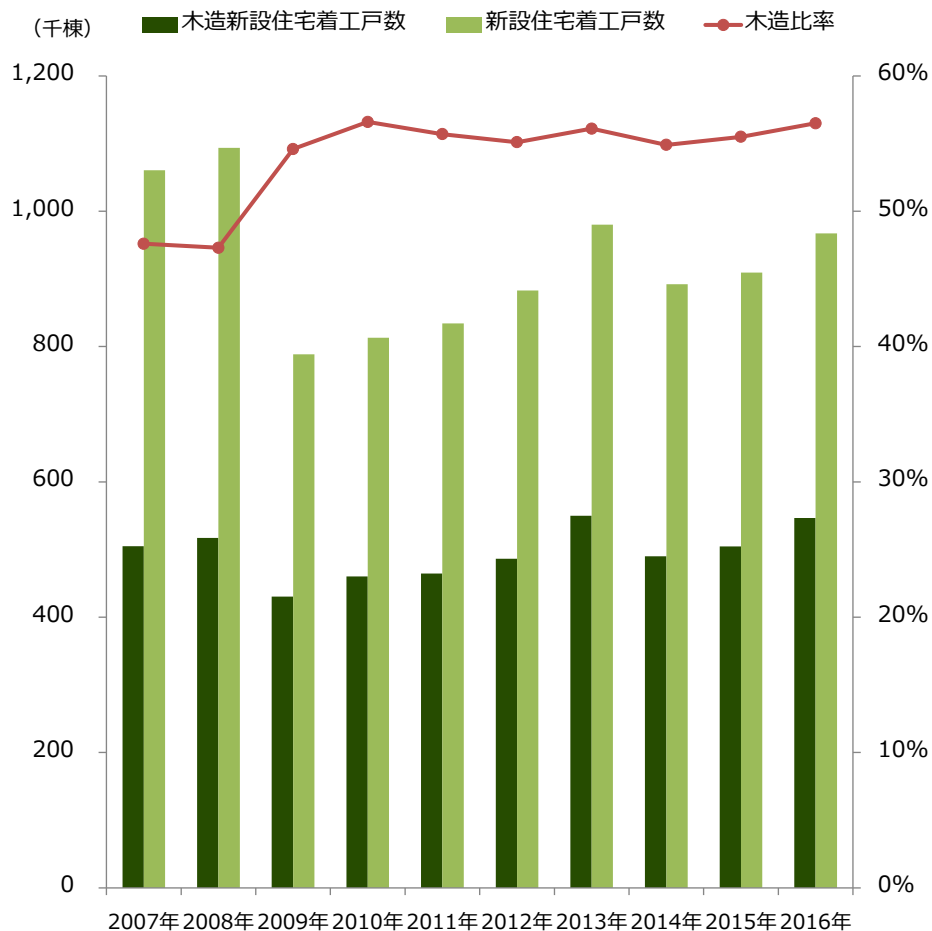


	2016年11月期	2017年11月期
	実績	実績
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュフロー	931	542
投資活動によるキャッシュフロー	△ 583	△ 814
財務活動によるキャッシュフロー	△ 221	645
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	127	373
現金及び現金同等物の期首残高	1,197	1,325
現金及び現金同等物の期末残高	1,325	1,699

	2016年11月期	2017年11月期
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
設備投資	1,562	1,262
減価償却費	230	303

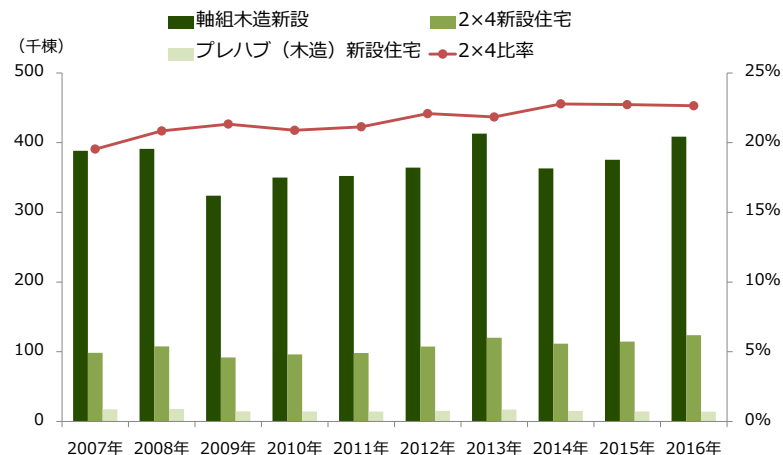
1. 当社の概要
2. 2017年11月期決算の概要
- 3. 成長戦略及び
2018年11月期業績予想**
4. 株主還元

新設住宅着工戸数に占める木造新設住宅着工戸数の割合



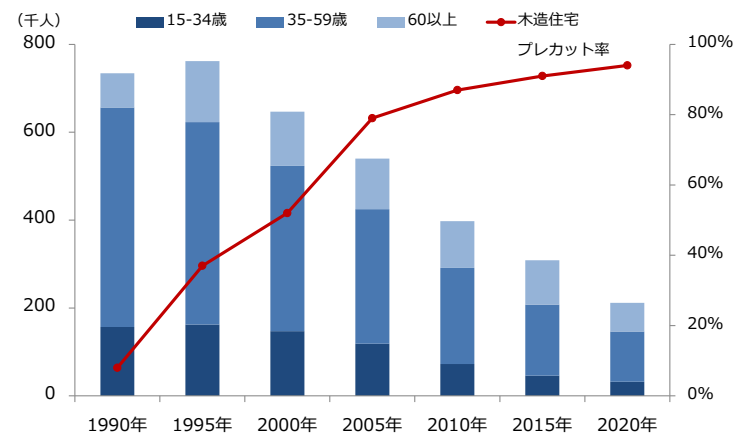
出所：国土交通省総合政策局情報管理部建設調査統計課資料より

工法別木造新設住宅着工戸数とツーバイフォー比率



出所：国土交通省総合政策局情報管理部建設調査統計課資料より当社作成

年齢別大工就業者数と軸組木造住宅のプレカット率

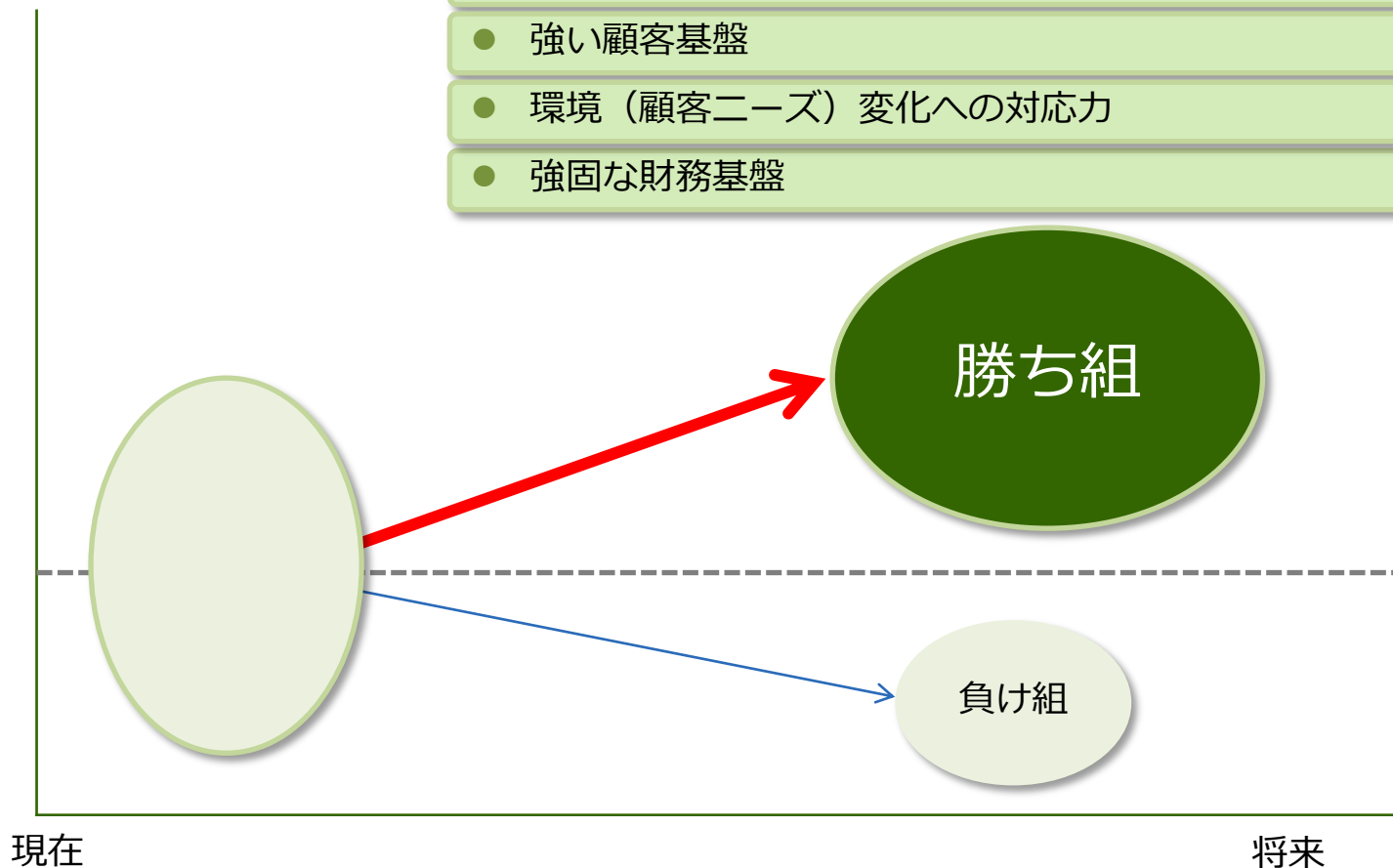


出所：総務省「国勢調査」、一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会、住環境価値向上事業協同組合「大工の育成と雇用形態 平成25年度」一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

勝ち組と負け組の2極化へ

勝ち組への条件

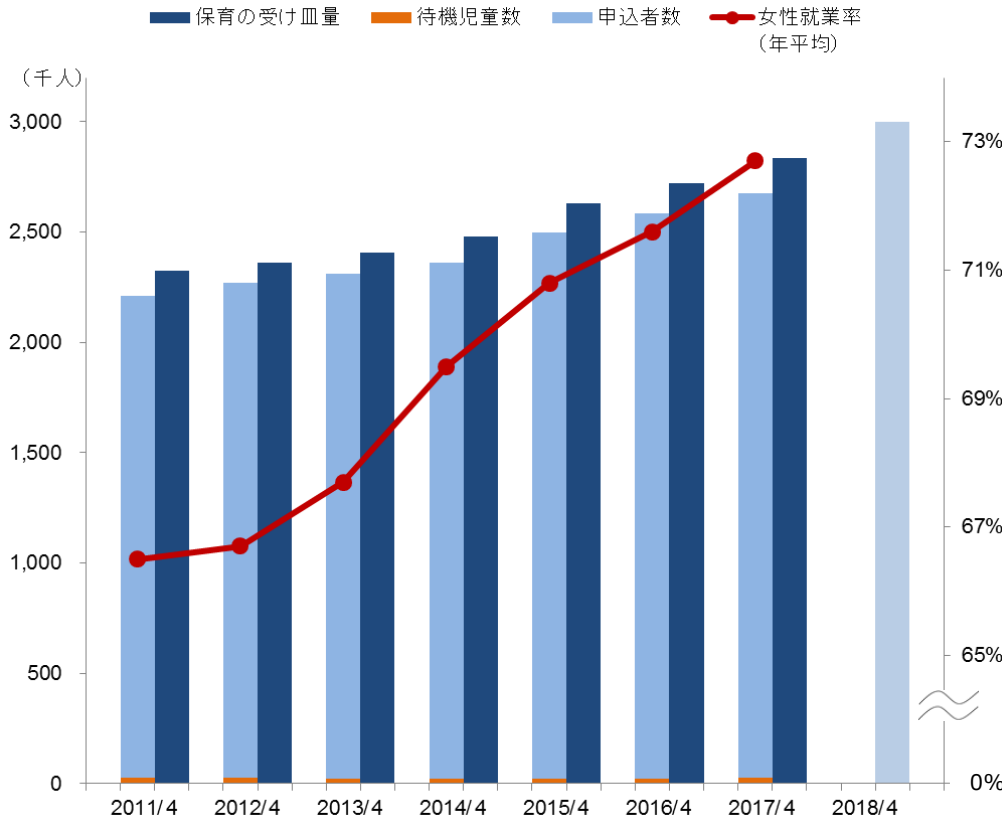
- 高品質、コスト競争力
- 提案力、現場対応力（企画・設計・アフターサービスで迅速な対応）
- 大量製品の安定的かつ迅速な供給力
- 強い顧客基盤
- 環境（顧客ニーズ）変化への対応力
- 強固な財務基盤



待機児童数の状況

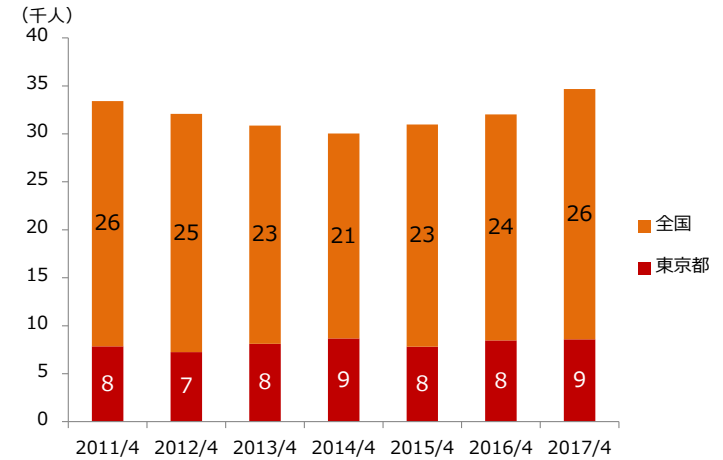


女性就業率、保育所受け皿量、待機児童数の推移



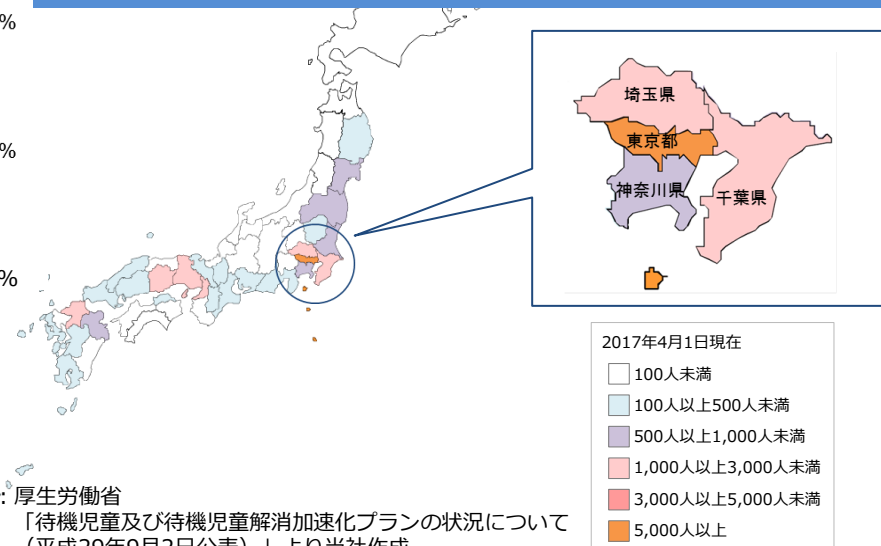
出所：厚生労働省
「待機児童及び待機児童解消加速化プランの状況について
(平成29年9月2日公表)」より

全国待機児童数に占める東京都の割合



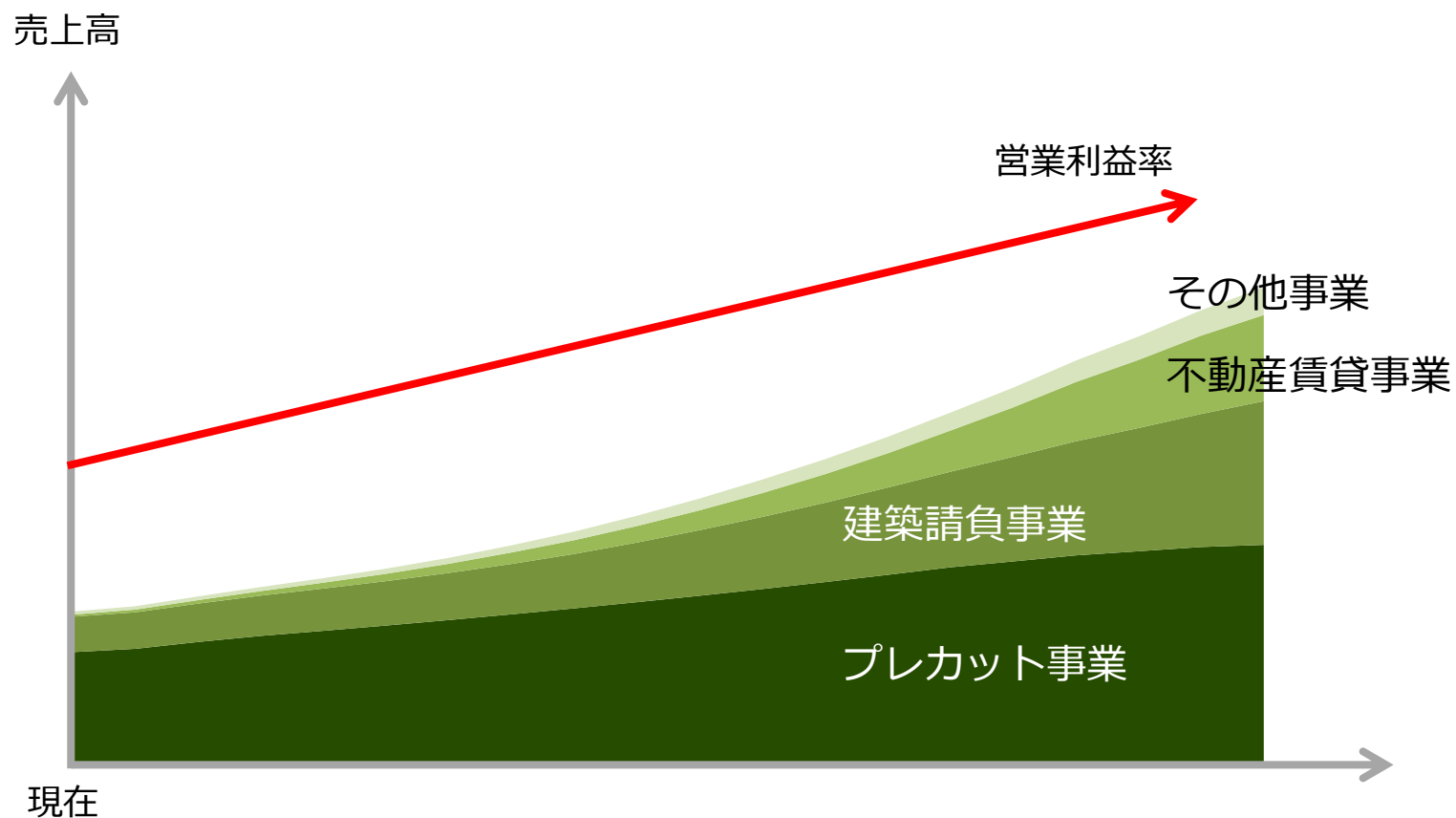
出所：都福祉保健局公表資料「保育サービス利用状況等について」より当社作成

地域別待機児童数の状況



出所：厚生労働省
「待機児童及び待機児童解消加速化プランの状況について
(平成29年9月2日公表)」より当社作成

プレカット事業をベースとした安定収益の拡大



強固な内部管理体制の構築

プレカット事業

更なる競争力の強化

商圏（首都圏）の深耕
サービス充実・効率向上
（営業・生産拠点の拡充）

新規取引先（顧客）の開拓

既存顧客との取引拡大

優秀な人材の
確保・育成

外国人
技能実習生の活用

ツーバイフォーの
生産効率の向上

樹種変更の
提案力強化・推進

コスト競争力強化

営業エリアの拡大

バランス受注による
工事収入の拡大

大型木造住宅
建築の拡大

自社ブランド住宅の
販売推進

安定収益の拡大

都内保育所の
建築・賃貸の拡大

介護施設の
建築・賃貸の拡大

建築請負事業

その他（不動産の販売）

不動産賃貸事業



保育所（船橋市）

建設請負事業

- 大手住宅販売会社・地場中堅不動産会社からのバランスのとれた受注
- 保育所等の大型木造住宅の受注拡大
- モデルハウスの活用による戸建注文住宅の販売強化
- 注文住宅(ヘルシエ) ブランドの確立



保育所（文京区）

不動産賃貸事業

- 「長期契約を基本に」
保育所等の取得・賃貸の拡大による安定収益の拡大

<主な進行中物件>

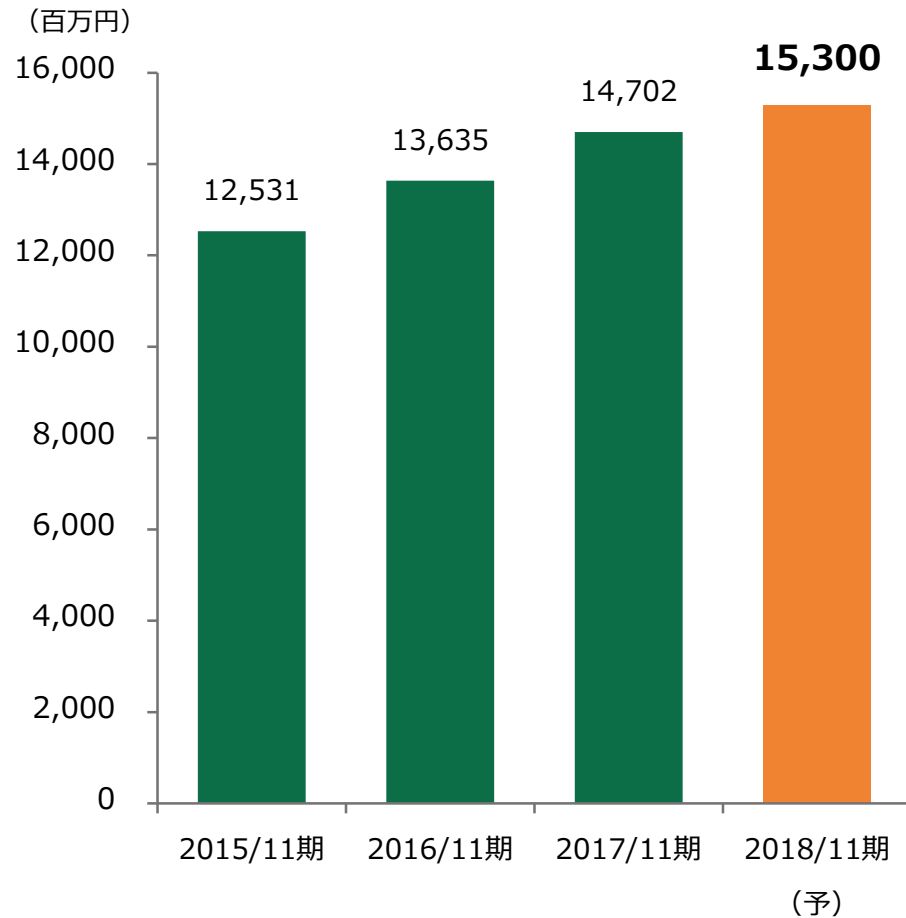
物件	保育所施設（品川区）	保育所施設（大田区）	保育所施設（大田区）
土地面積	224.03㎡	330.57㎡	260.73㎡
延床面積	385.32㎡	665.56㎡	456.25㎡
定員数	45名	60-80名（予定）	60名
着手年月	2017年5月	2016年12月	2016年12月
完了予定年月	2018年3月	2018年3月	2018年3月

2018年11月期業績予想 業績推移

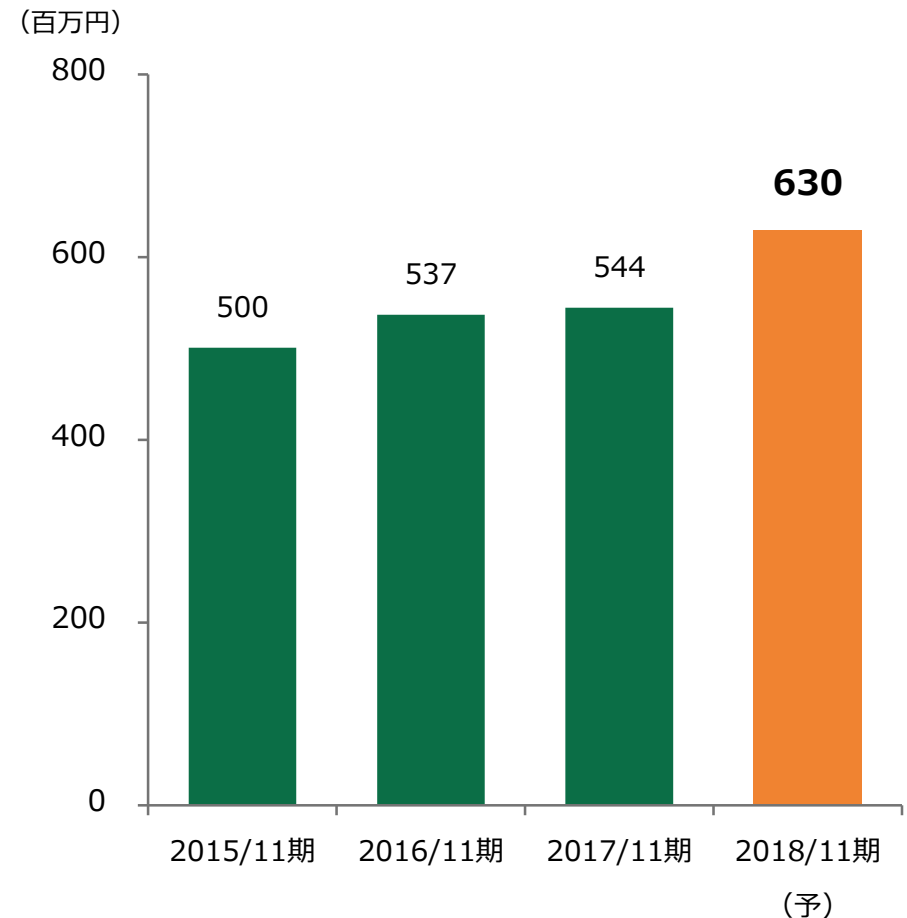


今期も增收增益予想

売上高



経常利益



2018年11月期業績予想



	2017年11月期 実績		2018年11月期 予想			
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
売上高	14,702	100.0%	15,300	100.0%	598	4.1%
プレカット	11,754	80.0%	11,973	78.3%	219	1.9%
建築請負	3,601	24.5%	3,719	24.3%	118	3.3%
不動産賃貸	340	2.3%	316	2.1%	△ 24	△7.1%
その他	241	1.6%	618	4.0%	377	156.4%
調整額	△ 1,236	△8.4%	△ 1,327	△8.7%	△ 91	—
営業利益	598	4.1%	680	4.4%	82	13.7%
経常利益	544	3.7%	630	4.1%	86	15.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	339	2.3%	410	2.7%	71	20.9%

1. 当社の概要
2. 2017年11月期決算の概要
3. 成長戦略及び
2018年11月期業績予想
4. 株主還元

配当政策の基本方針

将来の事業展開と
経営体質強化に必要な
内部留保の確保

継続性・安定性

経営成績に応じた配当の実施

配当金額

2017年11月期

1株当たり年間配当金：35円（上場記念配当5円含む）

2018年11月期

1株当たり年間配当金予想：40円（中間0円、期末40円）

株式会社シー・エス・ランバー

【お問い合わせ先】

株式会社シー・エス・ランバー

取締役 管理本部長 鈴木 正裕

TEL 043-213-8810

FAX 043-213-8819

URL <http://www.c-s-lumber.co.jp>

<ご案内>

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご利用者自身の判断において行われるようお願い申し上げます。

なお、いかなる目的であれ、本資料を当社の許可なく複写複製等を行わないようお願い申し上げます。